

平成21年2月13日

各 位

会社名 アライドテレシスホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役会長 大嶋 章 禎
(コード番号：6835 東証第2部)
問合せ先 IR部長 原 洋 一
(TEL：03-5437-6007)
(URL <http://www.at-global.com/>)

平成20年12月期業績予想（連結）の修正に関するお知らせ

最近の景気動向を踏まえ、平成20年10月31日付「平成20年12月期 第3四半期財務・業績の概況」にて公表した平成20年12月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績

通期連結業績予想数値の修正（平成20年1月1日～平成20年12月31日）

(金額の単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	50,400	1,920	780	480
今回修正予想(B)	48,050	3,000	230	380
増減額(B-A)	△2,350	1,080	△550	△100
増減率(%)	△4.7%	56.3%	△70.5%	△20.8%

2. 業績予想修正の理由

- (売上高) 米国に端を発した金融危機は实体经济に波及し、世界経済は急激に悪化しております。当社グループを取り巻く事業環境も少なからず影響を受けております。さらに第4四半期における急激な円高も加わり、連結売上高は予想を4.7%下回る480億50百万円となる見込みであります。
- (営業利益) 当社グループは、3年前から強固な利益体質構築を目指して、経営効率の向上に努めてまいりました。その結果、**営業利益は予想を56.3%上回る30億円**となる見込みであります。
- (経常利益) 当期想定以上に円高が進行したため、期末に保有する外貨建て資産の為替評価損約16億円を含む約24億円の為替差損の発生が見込まれ、経常利益は2億30百万円となる見込みであります。
- (当期純利益) 下記3.に記載のとおり、特別利益が発生したことにより、3億80百万円の利益となる見込みであります。

【補足説明】

為替変動による当社グループ業績への影響等は以下のとおりです。

- ① 当社グループの売上に占める海外比率は46%であります。円高時には円換算売上高は減少し、円安時には増加する傾向にあります。
- ② 当社の当期の想定為替レートは1ドル=105円であり、約7億円の為替評価損を見込んでおりました。しかし、想定以上に円高が進行し期末の為替レート1ドル=91.03円となったため、約16億円の為替評価損が発生することとなり、これが経常利益、純利益を押し下げる要因となりました。なお、これは期末の為替レートを基準に算出する評価であるため、基準日の為替レートが想定為替レートより円高か円安かにより、為替差損もしくは為替差益として利益水準に影響が及ぶものであります。

3. 特別利益の発生について

期末に、過去に発行したストックオプションとしての新株予約権の一部を消却いたしました。これにより、新株予約権戻入益が1億95百万円発生しましたので、特別利益に計上いたしました。

以上

(注) この資料に記載しております業績等の数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。